

令和 8 年 第 1 回

伊根町議会定例会会議録

令和 8 年 3 月 12 日（第 2 号）

伊 根 町 議 会

令和 8 年 第 1 回（定例会）

伊根町議会 会議録（第2号）

招 集 年 月 日	令和8年 3月12日 木曜日						
招 集 場 所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開 閉 の 日 時 及 び 宣 告 者	開 会	令和8年 3月12日 9時30分			議 長	佐 戸 仁 志	
	散 会	令和8年 3月12日 11時23分			議 長	佐 戸 仁 志	
応(不応)招 議 員 及 び 出 席 並 び に 欠 席 議 員	議席番号	氏 名	出欠	議席番号	氏 名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	1	上 辻 亨	○	6	大 谷 功	○	
	2	長谷川貴之	○	7	和 田 義 清	○	
	3	松 山 義 宗	○	8	濱 野 茂 樹	○	
	4	向井久仁子	○	9	佐 戸 仁 志	○	
	5	山 根 朝 子	○				
地方自治法 第121条 の 規 定 に よ り 説 明 の た め 出 席 し た 者 の 職 氏 名	職	氏 名	出欠	職	氏 名	出欠	出席10名 欠席 0名
	町 長	吉 本 秀 樹	○	住民生活課長	森 田 連 三	○	
	副 町 長	上 山 富 夫	○	保健福祉課長	石 野 靖	○	
	教 育 長	岩 佐 好 正	○	地域整備課長	橋 本 利 将	○	
	総務課長	鍵 良 平	○	教育次長	横 川 純	○	
	企画観光課長	千 賀 和 孝	○	会計管理者	中 川 雅 貴	○	
職務のため 出席した者 の 職 氏 名	議 会 事務局長	倉 正 人	○	嘱託職員	奥 野 日 菜	○	
会 議 録 署 名 議 員	3番	松山 義宗		7番	和田 義清		
議 事 日 程	別紙のとおり						
会 議 に 付 し た 事 件	別紙のとおり						
会 議 の 経 過	別紙のとおり						

令和8年 第1回 伊根町議会定例会

議事日程 (第2号)

令和8年3月12日(木)
午 前 9時30分 開議

- | | |
|-------|------------------------------|
| 日程第 1 | 会議録署名議員の指名 |
| 日程第 2 | 議案第 3号 令和8年度伊根町一般会計予算 |
| 日程第 3 | 議案第 4号 令和8年度伊根町国民健康保険特別会計予算 |
| 日程第 4 | 議案第 5号 令和8年度伊根町財産区特別会計予算 |
| 日程第 5 | 議案第 6号 令和8年度伊根町介護保険特別会計予算 |
| 日程第 6 | 議案第 7号 令和8年度伊根町訪問看護事業特別会計予算 |
| 日程第 7 | 議案第 8号 令和8年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算 |
| 日程第 8 | 議案第 9号 令和8年度伊根町簡易水道事業会計予算 |
| 日程第 9 | 議案第10号 令和8年度伊根町下水道事業会計予算 |

会議に付した事件

- | | | |
|-----|---|---------------------------------|
| 日程第 | 1 | 会議録署名議員の指名 |
| 日程第 | 2 | 議案第 3 号 令和 8 年度伊根町一般会計予算 |
| 日程第 | 3 | 議案第 4 号 令和 8 年度伊根町国民健康保険特別会計予算 |
| 日程第 | 4 | 議案第 5 号 令和 8 年度伊根町財産区特別会計予算 |
| 日程第 | 5 | 議案第 6 号 令和 8 年度伊根町介護保険特別会計予算 |
| 日程第 | 6 | 議案第 7 号 令和 8 年度伊根町訪問看護事業特別会計予算 |
| 日程第 | 7 | 議案第 8 号 令和 8 年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算 |
| 日程第 | 8 | 議案第 9 号 令和 8 年度伊根町簡易水道事業会計予算 |
| 日程第 | 9 | 議案第 10 号 令和 8 年度伊根町下水道事業会計予算 |

会 議 の 経 過

令和8年3月12日（木）
午 前 9時30分 開議

◎ 開議の宣言

○議長（佐戸仁志君） 皆さん、おはようございます。

昨日、今日と非常に肌寒く、いよいよ春が近づいてきているかなと思う季節となりました。

明日行われる伊根中学校の卒業式は、インフルエンザがはやっているようで、皆さんも体調には十分お気をつけください。

ただいまの出席議員は全員です。

これより直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（佐戸仁志君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定によって、議長において

3番、松 山 議員

7番、和 田 議員を指名します。

以上の両議員に差し支えのある場合は、次の号数の議席の議員にお願いいたします。

◎ 日程第2 議案第3号

○議長（佐戸仁志君） 日程第2、議案第3号 令和8年度伊根町一般会計予算を議題とし、これから質疑を行います。

なお、質疑は慣例により、歳入全般を一区切り、歳出の1款議会費から4款衛生費までを一区切り、6款農林水産業費から8款土木費までを一区切り、9款消防費から14款予備費までを一区切り、合計4区切りとして行いますので、よろしくをお願いいたします。

また、十分審議を尽くせるよう、令和8年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情が許す限り制限しないこととしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（佐戸仁志君） 異議なしと認めます。令和8年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情が許す限り制限しないことと決定しました。十分な審議が尽くされることを期待します。

なお、質疑の際は、予算書ページ、事業名の後、質疑いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

初めに、一般会計予算の歳入全般を対象として質疑を行います。質疑ありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 質問する前に、大変申し訳ないんですけども、私、いつも事前通告をしておりましたが、今回、事前通告をちょっとできていけませんので、もしお答えが滞るようでしたら、後からでも結構なので、よろしくをお願いいたします。

まず、16ページの地方交付税についてお尋ねします。

7,100万円の増ということで、地方交付税の算定には、学校再編であつたりとか人口減少とか町道の再編等で、交付税の算定基準がある程度、毎年下がってきておると思っておるんですが、それでも今回は、人件費とか過年債等の増額で、それがいわゆる減額要因を上回って、全体で6.5%の増というご説明を受けておりますが、このようなご理解でよろしいのかどうかお示ください。

○議長（佐戸仁志君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまご質問いただきました地方交付税の増額の要因でございます

が、おおむね和田議員の今質問の中で説明された内容で、私のほうも説明させていただいたというふうに思っております。

特に地方交付税の総額決定等に際しまして、国のほうから公表される地方財政対策全般で見ましても、いわゆる国で議論されています教育無償化への対応分、あるいは給食費、こういったあたりも、今回、地方交付税の中に算入されておるといことですか、防災・減災対策を推進していく、こういったあたりも重点化されておるといふふうに聞かせていただいております。

このあたりと、あとは、交付税の財源となります国税の増収見込み分なども反映されての増額傾向というふうに聞かせていただいております。

○議長（佐戸仁志君） 7番、和田議員。

○7番（和田義清君） ありがとうございます。

続きまして、18ページの商工使用料の1,552万円増についてですが、これ単純に増額分は、いわゆる事前説明でも聞かせていただいたとおり、ほぼほぼ駐車場の値上げ分との理解でよろしいでしょうか。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） そのとおり、駐車場の増加見込み分でございます。

○議長（佐戸仁志君） 7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 続きまして、予算書の28ページ、ふるさと応援基金の繰入金が300万円の減で計上されていますけれども、実績見込みから、今回は30万円の計上というふうにお聞きしております。

ということは、新たに応援基金増額の、いわゆる新たな増額するような対策の予定もなく、これまでどおりのやり方で応援基金のほうは継続していき、前年実績の見込みでの30万円の計上という、このような理解でよろしいでしょうか。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） すみません、30万円の部分のご説明をさせていただいたらよろしい、300万円減の説明をさせていただいたらよろしいでしょうか。

○7番（和田義清君） すみません、300万円の減。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 前年、令和7年度の見込みを基に2,000万円、300万減とさせていただきます。

新たな対策といたしましては、ポータルサイト、利用するサイトのほうを、少しずつは増やさせていただいておるんですけれども、なかなかそこに出品していただく商品のほうが増えない現状がありまして、寄附の増にはつながっていない現状があります。少しずつ努力をさせていただきたいと思っております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） 16ページの固定資産税についてですが、減額の幅が非常に大きいと思うんですが、3年ごとの見直しということなのか、そういうふうな説明を受けたんですけれども、8年度は土地の価格の変更によるものなのか、また、地目変更がどれぐらいあったのかということが分かりましたら、お願いします。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） 固定資産税の減少幅につきましては、議員がおっしゃったように、3年ごとの評価替えにより、土地と家屋は評価額が変動をすることになっております。次回は令和9年度で、令和8年度は大きく変動はいたしません。

土地に限っていえば、昨年比マイナス4,000円、家屋は新築分が増えますので、プラス27万1,000円となります。償却資産分がマイナス22万3,000円で、減少幅が大きいという部分については償却資産分ということになります。

以前は過去数年間の平均値で算出をしておりましたが、事業者が償却資産を取得しない限り、前年度の税収を上回ることとはなく、毎年自然減で200万円程度は減少します。令和7年中に町内で新造船を取得したなどの情報があれば、その分を見込んで計上することは可能ですけれども、今回

はそういった情報もなく、自然減により算出をしたため、前年度より減少したというものでございます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） 29ページです。財産運用収入の普通財産貸付料ですね。

丹海バスさんへの駐車場の貸付けによって300万円増えたということはお聞きしましたが、あと残りの分、どのようなところに貸付けをされて、こういう金額になっているのかお聞かせください。

○議長（佐戸仁志君） 中川会計管理者。

○会計管理者（中川雅貴君） ご質問にお答えします。

丹海バス駐車場以外の普通財産の貸付けでございますが、箇所数でいきますと60か所ありまして、これには関西電力の電柱であったり携帯電話基地局、あと、行政財産から普通財産に移管した建物の家賃等含まれておりまして、金額は289万9,000円でございます。

○議長（佐戸仁志君） 3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） その家賃について、ちょっとお聞かせください。

○議長（佐戸仁志君） 中川会計管理者。

○会計管理者（中川雅貴君） 家賃につきましては、旧本庄診療所の医師住宅を本庄地区農村環境保全会に貸し付けております分が年間31万4,316円、本庄浜にあります一般の住民の方がお住まいの住宅が年額1万4,108円となっております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 予算書の30、31、32ページです。

21款の1項町債でございますが、最近、過疎指定の町村が大変増えたということで、そのあおりを食って、近年、過疎債ソフトは減らされております。6年度補正予算でも、過疎債ソフト分が大きな減額となりましたけれども、7年度予算は6年度当初予算とほぼ同額を見込んでおられます。

今後、過疎債の動向の見通しというのが把握できておられましたら、教えてください。

○議長（佐戸仁志君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 8年度の当初予算計上額の見通し、そういったあたりをお答えすることによってよろしいですね。

ただいまのご質問いただきました過疎対策事業債のソフト分の減額となった令和7年度の予算と、また当初の8年度で、ほぼ同じ額を計上しておるという状況でございますが、令和8年度の地方債計画の中、国全体の過疎対策事業債の総額、地方債計画の中で過疎対策事業債は、6,100億円計上されております。これにつきましては、前年度の地方債計画の過疎債総額と比べますと、200億円、3.4%増額計上となっております。

地方債計画の中での一般会計債全体では、前年比2,500億円余りで、4.4%の伸びとなっておりますのでありますが、特に地方債計画の動向を見ていきますと、既存事業の中では、学校教育施設等整備事業、一般廃棄物処理事業が大きく伸びておるという状況のようでございます。

過疎対策事業債は、7年から8年への伸びでは200億円なんですけれども、ここ近年、五、六年を見ても、200億円伸びた年もあれば、300億円伸びた年もありということで、コンスタントな増加傾向にはございます。これにつきましても、全国過疎地域連盟ですとか地方団体、町村会をはじめとする地方6団体などの要望活動が反映されて、こういった増額につながっているというふうには考えておるところでございます。

続いて、過疎債ソフト分の算定でございますが、前年度の基準財政需要額と財政力指数を基に算定されております。この算定に基づいて、発行上限額の通知を受けて、起債措置を行うものなんですけれども、制度上、起債要望額の合計額が地方債計画額の範囲内に収まっておった場合には、財政力指数が0.51以下の市町村に限って、算定額の2倍まで要望することができるという制度でございます。本町では、上限額の2倍まで要望できるよう、2倍を見込んだ予算措置とさせていただいております。

近年では、ただいま大谷議員のご質問の中にもありましたとおり、ハード分の要望額が全国的にかなり増加しておりまして、ソフト分の2倍要望に対応する部分が減少し続けて、令和6年度から、

算定額上限を超えた分の配分がなくなった状況でございます。令和7年度では、算定額は5,300万円余りでございました。8年度につきましても、おおむね同様の算定と想定をしております。

昨年、一昨年からの傾向で、8年度分につきましても、ハード分の要望は相当多いものと見込まれます。さらに、国勢調査ごとに過疎団体の数は、これまでは増加の一途をたどってきておるということもありまして、令和7年国勢調査でも、過疎団体の数が増加するのではというふうに見込んでおります。

ただ、先ほども申し上げましたとおり、地方債計画の中で、地方財政計画の中の一般財源総額は増加しておりますし、地方債計画の中の過疎債も増加傾向にあるということは事実でございますので、こういった状況から、過疎債のソフト分についても、算定額を超える部分が起債措置が可能になるなら、協議を行って借入れを行っていききたいというふうを考えておりまして、協議を行うために予算措置が必要となりますので、こういったあたりを踏まえて、現在、この額を計上させていただいておるところです。ルール上、算定基準に従いますと、おおむねこの半分が算定額ということになるかと想定をしておるところでございます。

今後も、安定的な過疎債ソフト分、一般財源として使えるこの部分につきまして、全国過疎連盟や町村会を通じて、あるいは京都府を通じて、増額要望を継続してまいりたいというふうを考えております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 通告しておりませんが、先ほどの松山議員の質問に対する答弁について、ちょっと伺いたいことがあるので、質問させていただきます。

15ページの固定資産税についてであります。

償却資産、申告に基づいて予算計上するということがされているようでございますが、地方税法には町税吏員の質問検査権、当然あります。申告されたもののみを課税するのではなく、この地方税法第353条の質問検査権を行使して償却資産の調査をして、財源の確保等、そういった正しく申告されている方とのことも考慮すべきだと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） 当然、法的なそういう取決めといいますか、取扱いもあるんですが、けれども、従来からそういった方法は行っておりません。おっしゃる調査を実施するに当たって、現状における人員配置では非常に厳しいというところと、償却資産の申告の受付事務そのものも税機構のほうに移管をしております。そういった関係から、うちのほうで特別にそういった申告をすることは考えておりません。

また、所得税の確定申告において、償却資産そのものの申請も把握することができますので、そちらのほうで確認をして追徴したりということは、当然あり得るところでございます。ただ、年末の段階において、当初予算計上する段階においては、それほど多く労力を割くということにはなかなかいかないというのが実情でございます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） ぜひ、真面目に申告されている方もいらっしゃるわけですよ。そうした中で、そのように人手が足りないから調査しないんだというのではなくて、確定申告の書類を見て照らし合わせれば、この分出ていないですよということは分かると思うんですね。

今後、そういったことをしっかりと行使するんだということをこの場で言うていただかないと、これ議事録で、ちょっと人手が足りないんで、その分調査できませんよとなるのは、いかななものかと私は思いますよ。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） 12月段階では難しいということは先ほど申し上げました。ただ、所得税なり住民税の確定申告において出てくる償却資産については、照合は毎年行っております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。よろしいですか。

次に、歳出1款議会費から4款衛生費を対象として質疑を行います。質疑ありませんか。4番、向井議員。

○4番（向井久仁子君） 81ページの14目の児童福祉施設の保育管理運営費、工事請負費について伺います。

かねてから要望がありました零歳児の保育の受入れが決まり、保護者の方たちにとってはとてもうれしいことだと思っています。

そこで、運営について伺います。

1つ目が、保育所の増設工事はいつ頃終わる予定で、ゼロ歳児の受入れ予定はいつ頃になりますか。

そして、もう一つは、ゼロ歳児の受入れができない理由に、前回、保育士の人手不足が原因の一つだと言われていましたが、今回、伊根と本庄の保育所が一つになることで保育士が確保でき、受入れができるようになったという考えでよろしいのかお聞かせください。

○議長（佐戸仁志君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 令和8年度中の保育所の増築工事の関係だと思います。

年度の早い時期に、4月、5月ぐらいには、工事の発注・入札をしたいと考えております。

ただ、保育所を開いている中での工事になりますので、特に危険な時間帯、登降園の時間であったり、午睡の静かにしていただきたい時間などを業者に伝えての工事になろうかと思っておりますので、工期は若干長くなろうかと考えております。ただ、秋には大きな行事等も控えておりますので、一定、秋には終わっていただければ幸いかなとも思っております。

ゼロ歳児の受入れのことになりますが、令和9年度、令和9年4月入所の募集と考えております。保育士不足のことについては、議員おっしゃったとおり、町内1か所であるところもありますので、令和9年度は本庄保育所を休止としまして、町内1か所での保育となりますので、職員については対応できると判断しております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 予算書49ページの跡地活用事業のところの補助金で1,624万7,000円計上されておるんですけども、取得費と事前説明のほうではお伺いしておるんですが、これ、そんなに細かい詳細じゃなくて、大まかな内訳をお示しをお願いします。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 補助金の算定の基礎でございますが、不動産取得税の見合い分といたしまして1,458万7,000円、登録免許税の見合い分といたしまして145万8,000円、その登記に係ります司法書士の手数料見合いといたしまして20万円を計上させていただきます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。1番、上辻議員。

○1番（上辻 亨君） 予算書の57ページです。

個人番号カード交付事業で4万6,000円、予算がついてあるんですけども、まだ町内の方で、個人番号カードを交付されていない方がおられるのかお聞かせください。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） 伊根町内での個人番号カードの保有率は、ほかの市町村よりも高い状況にはございますが、それでもおおむね85%程度でございます。このため、およそ250人ほどはお持ちでないということになります。時々新規の登録もあるのはあるのですが、数件程度で、パーセンテージが大きく変動するほどではありません。

○議長（佐戸仁志君） 1番、上辻議員。

○1番（上辻 亨君） これ、保険証も一体化になるわけですが、交付されない方の理由とか、なぜ交付されないのかというのは把握されておるんですか。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） 伝え聞く話では、安全性がということもございますし、ご高齢の方になりますと、使いこなせない、そういったご意見も聞いておるところでございますが、登録されていない皆さんの中の比率としては、どれぐらいそういう思いでおられるのかというのは、ちょっと把握はしておりません。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） 55ページになります。

徴税費、固定資産の評価業務として285万円が上がっておりますが、これ去年はなかったんですけれども、今年度に限ってやられることなのかどうなのか、ちょっとお聞かせください。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） 評価替えに合わせて3年周期で、こういった委託事業については実施をしております。固定資産評価替え鑑定業務につきましては、3年に1回、評価替えの年の翌年、いわゆる今年度を実施しております。

固定資産評価更新業務については、年度ごとに委託料の変動はあるんですけれども、毎年実施をしている事業でございまして、議員ご質問の固定資産評価替え更新業務は、令和7年度当初予算にも計上をさせていただいております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） 49ページです。跡地活用事業についてちょっと伺います。

住宅整備のための進入路というふうにお聞きをしたんですけれども、これというのは、どうなんですかね、今やらなきゃいけないことなのか、それと、町債も財源のほうに含まれていますが、それを使っても、早めにやらなきゃいけないというふうな事情があるのかどうかお聞かせください。

○議長（佐戸仁志君） 橋本課長。

○地域整備課長（橋本利将君） 松山議員のおっしゃる町内道路につきましては、道路改良費のほうで計上させてもらっておる部分になるかと思えます。どうでしょうか。分かりました。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 39ページの行政共通事務費について伺います。

カスタマーハラスメントが社会問題化しており、令和8年10月1日から改正労働施策総合推進法に、企業等にはカスハラ防止のため、雇用管理上、必要な措置を講じることが義務づけられております。

そうした中で、カスハラ対策として庁舎電話機に録音機能を設置することは、職員を守る意味で必要であり、評価するところであります。他の出先機関への設置予算は含まれておりませんが、今後必要になるのではないか。また、カスハラ事例などもまとめた対応マニュアルや連絡相談体制はどのようになっているのか、電話機の設置に含めて伺います。

○議長（佐戸仁志君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま濱野議員からのご質問の中で、他の出先機関への設置予算は含まれていないが、今後必要になるのではないかというご指摘をいただいたところですが、私どもでも、そういったことも一定の検討はさせていただいております。今回、庁舎電話機の機能改善を行いまして、録音とともに、代表電話にかかってくる電話を音声案内によって各課転送する、そういった想定をまずは始めてというところから、出先機関につきましては現時点では、そういった事案があまり報告を受けていないということもありまして、まずは様子を見ながら、庁舎の電話の機能アップをしつつ、例えば出先機関につきましては、業務時間外での電話対応を控えさせていただきますというようなアナウンスを入れるといった方法論も含めながら、導入について検討はしてまいりたいというふうに考えております。

ご質問の中にありました国からカスハラ対策は実施が義務づけられるということで、この国の指針に従った対応マニュアルを整備していく必要がございまして、ご質問のとおり、令和8年10月1日までに対応マニュアルの整備も進めて、相談体制を確立してまいりたいというふうに考えております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。2番、長谷川議員。

○2番（長谷川貴之君） 予算書の47ページです。

地域公共交通確保維持費の委託料、いねタクの運行について伺います。

今期、積雪時におきまして、いねタクの運休が何度ありました。路線バスは運行再開をしましたが、いねタクの運休等によって、町民の移動手段に影響もしておりました。

改めて伺います。運休の判断基準と運休時の乗務員の勤務体制、運休によって委託料

の減額等はあるのかどうか伺います。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 運休の判断基準でございますが、判断基準としましては、安全第一ということでやらせていただいております。大雪警報発令イコール運休ではなく、警報の予測といねタクの予約状況を見ながら、適宜判断をさせていただいております。

対応としましては、事前に警報が発令されると運休となることがありますということをいねばんで周知し、警報発令後、運休を決定したならば、直ちにいねばんで周知をしております。運転再開時におきましては、除雪の状況や道路状況を確認した上で、運行に支障がないと判断できれば、再開をしております。昨年、4WDの車両を導入しておりますので、以前に比べて運行可能という判断ができる状況は広がっていると思っております。

それから、運休時の運転手の勤務につきましては、運休の期間や時間などによって異なりますが、基本的には有休消化で対応されております。委託料につきましては、運休時間分は減額とさせていただきます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 51ページの自治会活動支援事業について伺います。

観光とまちづくり共生基金を活用した自治体活動等交付金の均等割5万円から10万円の増額は、地区協議会要望でもあり、評価するものであります。

区長会で増額された均等割分の財源についても説明されるというふうに思いますが、広報紙等でも本財源について広く広報することが、観光と共存・共生する意味で必要ではないでしょうか。

○議長（佐戸仁志君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまご指摘をいただきましたとおり、例年4月に行います区長会で、基金の目的を踏まえた増額の説明を予定させていただいております。

また、このほかに、この基金を活用した事業が、例えば施設整備等に充当するものなど、こういったものにつきましては、当該施設が完成した際の広報に合わせて、広報紙等で財源の内容につきまして広くお知らせをしていく、こういった方法で広報してまいりたいというふうに考えております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） 78ページです。

保育所管理運営費の工事請負費について伺います。

3,990万円ということなんですけれども、これの算定根拠を教えてください。

○議長（佐戸仁志君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 工事の積算の算定根拠につきましては、府の積算要綱を根拠に積算しております。

○議長（佐戸仁志君） 3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） ということは、職員の方がやられたということですか。

○議長（佐戸仁志君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 令和7年度、本年度の12月補正予算に計上し、設計を委託して進めることとしておりましたので、職員が設計したのではなく、業者に委託中ということになります。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 57ページ、町長・町議会議員選挙について伺います。

掲示板の配置場所データを使用するためのゼンリンの地図データ使用料でございますが、ゼンリンにこだわる必要があるのか。今でいえば、グーグルマップやヤフー地図等の無料の地図データを使用することができないのか伺います。

○議長（佐戸仁志君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ゼンリンにこだわる必要は特にはございませんが、職員が配置場所を地図上で表示するための作業をするのに利便性の高いものを選択しておったというような経過でございます。

今のご質問の中でありましたグーグルマップやヤフー地図等、無料の地図データもございます。現在、京都府知事選挙に向かって、この無料の地図データを使って、ポスター掲示場を表示できる仕組みをつくりつつありますので、今回の知事選挙から、無料の地図データでポスター掲示場が告示できる見通しで今のところおります。

したがって、今回、当初予算段階では有料の地図を使う想定をし、予算積算をしておりましたが、本日時点の見通しでいいますと、この分の予算は未執行でいけるのかなというふうに今考えておるところでございます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 同じく57ページの町長・町議会議員選挙の人件費についてお伺いいたします。

衆議院総選挙より地区要望により、当日、投票所の閉鎖時刻の繰上げが行われました。公職選挙法第64条では、市町村の選挙管理委員会は、あらかじめ開票の場所及び日時を告示しなければならないとされております。

昨今の働き改革が叫ばれる状況に鑑み、投票管理者、投票立会人及び事務従事者等の負担軽減と経費削減のため、開票開始時間を午後8時からにすると、現在より早くすることができないのかお伺いいたします。

○議長（佐戸仁志君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 町長・町議会議員選挙におきましては、伊根町選挙管理委員会の決定をもって開票の時刻を決定できます。

さきに行われました衆議院の総選挙におきましては、全国で全ての団体の選挙を執行しておりますので、本町のみが先行して開票を始めますと、開票動向が他団体の選挙人の投票行動に影響を与える可能性がないとは言えないということから、京都府選管から、開票時刻につきましては全ての投票が終わった後にといいことの話し合いの中で、現在の時刻を設定させていただいておるところなんですが、本町の選挙の場合はこの制約がございませんので、前回から、さきの選挙から閉鎖時刻を繰り上げたというご指摘のとおり、本町の工夫によって早めることが可能かというふうに考えております。

ご指摘のとおり人件費もございますし、勤務終了時刻を早めることも考えられますので、このあたりを十分研究して、時間を早めていけるようなところを考えていきたいというふうには考えておるところでございます。実際には、どのぐらい早めることができるかというのは、まだ十分シミュレーション等行っておりませんので、これから検討させていただきたいというふうに思っております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 社会福祉総務費についてお尋ねしたいんですけども、予算書でいうと64、65、67ページのほうもそうなんですけれども、社会福祉総務費のほうで人件費が約1,400万円アップしたことで、大きく増額しておるとお聞きしておるんですけども、社協のほうの67ページの補助金のほうも、こちらのほうも大きく増額要因になっておると、事前説明のほうでは聞きましたけれども、社協の職員さんのほうも役場の職員というか町職員に準じて、同じように人件費アップということで、このような増額になったのかお聞かせ願います。

○議長（佐戸仁志君） 石野課長。

○保健福祉課長（石野 靖君） 民生費におけます社会福祉総務費の職員人件費については、積算人数等々の変更により増額となっております。

社協への補助金についての増額でございますが、社協への補助金につきましても、ほぼほぼといいますか、人件費に対する補助であります。社協がどのような人件費を見るのかは、社協で判断いただくことですが、当然、毎年定時昇給もございますし、人勧に似たような給料表の見直し等もありますので、人件費が伸びたことにより、社協への補助も増額となっております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 45ページの地方バス路線維持費補助金についてお伺いいたします。

伊根町を走る路線につきましては、インバウンドを中心に乗車人数は増え、増収している中で、

人件費増による補助金増加とのことでありますが、一体どれくらい給与が増えたのか、今後も事業者の給料が上がれば、そのたびに市町村の補助金が増えるということではないのかどうか伺いたします。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 人件費の増加につきましては、働き方改革関連法と自動車運転の労働時間等の改善のための基準の改正、いわゆる2024年問題の影響で1人当たりの運転時間が制限をされた関係で、路線バスに従事する運転手の総数が増えたことや、待遇改善のためのベースアップ、賞与の期間の改定などを含み、バス事業者からは令和6年から令和7年にかけて、17.6%の人件費増とお伺いをしております。

キロ当たり単価で申し上げますと、その他の影響も含めまして、令和6年から令和7年度は27%の増となっているところで、令和8年度予算計上に当たりましては、国庫補助基準単価の増割割合を参考に5%増で積算をしたところでございます。

今後も、さらなる人件費の増加や燃料費等の輸送コストが増えますと、運賃収入が変わらないということで申し上げますと、補助金は増えることになります。

○議長（佐戸仁志君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 運賃収入を変えないといけない時期に来ているのではないかというふうに私は思っています。

地方公共交通において、二重価格制の導入が議論されております。特に、観光客と地元住民で異なる運賃を設定する市民優先価格制度が、令和9年度中に京都市で実現すべく進められております。この制度は、観光客には高い運賃を設定して、地元住民には従来どおりの安価な運賃を維持することで、オーバーツーリズムによる混雑問題を緩和することを目的としております。

こうした取組も検討して、この補助金の補助額の抑制を図るべきだと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 議員ご指摘のとおり、京都市バスでは市民と観光客の二重運賃の導入が計画されているところで、道路運送法に規定があります特定の旅客に対しての不当な差別的取扱いの禁止、これを国がどのように判断されるのか、全国的にも注目を集めているものと思っております。京都市バスの二重価格が認められた際には、本地域でもその議論の必要があるとは考えております。

ただし、丹海バスにつきましては、国庫補助、府補助、市町村補助がないと維持ができない赤字路線となっております。現在の200円バスも、消費税が5%から8%、8%から10%に改定された際に、運賃への転嫁も検討いたしましたが、単に消費税分の数十円を転嫁するだけで国庫補助への影響があり、つまり国庫補助対象外となるおそれがあったことから、価格転嫁ができていない状況にあります。

議論の必要性は認識しておりますので、事業者や沿線市町と何らかの協議は行えるように検討したいということで、とどめさせていただきたいと思います。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 予算書75ページの一人親家庭医療費助成事業についてお尋ねします。

19節の扶助費の73万円について、こちらの積算根拠が分かれば教えてください。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） 過去3年間の実績で単価を算出いたしまして、対象者人数を掛けて算出をしております。

○議長（佐戸仁志君） 和田議員。

○7番（和田義清君） その対象者人数というか世帯数というのは、この場で答えていただいても大丈夫な件なんですかね。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） 一人親家庭は件数でいきますところ、211件ということで計算をしております。受給者数は、21名ということで積算をしております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。ないようですので、次に、6款農林水産業費から8款土木費を対象として質疑を行います。質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 105ページ、誘客対策事業についてお伺いいたします。

小学校フェンス設置費用950万円は、以前に教育委員会が整備したものの、数日で壊れ撤去したようなフェンスだと、予算の無駄遣いであります。

今回設置するのは、福祉センターと平行する形でブランコまで、基礎をしっかりとした開閉式を導入するということですが、こちらは暴風にも耐え、高さは一般的な2.2m以下という認識でよろしいでしょうか。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 今回設置を予定しておりますフェンスは、高さは1,800ミリメートルを想定しております。また、防風にも耐えられるかの点ですけれども、メーカーが示します標準仕様や設計条件に基づいて、現地条件を踏まえた上で、基礎を含め施工してまいります。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 107ページ、観光施設管理運営費3,000万円でございます。

本庄浜海水浴場既存施設改修3,000万円、あまりに高額ではないかなというふうに思っております。建設費上昇も理解できますが、改修工事内容をお伺いしたいと思います。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 本庄浜海水浴場施設の改修工事なんですけれども、当初は新築も検討しておりましたが、概算で7,000万円を超えるというような見積りが出たところ、既存施設の改修に方針転換をしたところでございます。

改修内容につきましては、老朽化しております設備更新に加えまして、使い勝手と維持管理性を踏まえた内部改修を想定しております。あわせて、外壁につきましても、海沿いでありまして、傷みやすいことから、改修も視野に入れつつ、高額と言われましたが、予算の範囲内で優先順位をつけて、設計、精査していきたいと思っております。

当然、地元、本庄浜区の意見も取り入れて、内容を確定させていただきたいと思っております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 昨今の物価高はすごいです。最初、本庄浜のあれやるときも、2,000万円ほどで新しいの建つの違うとか言ったら、7,000万円ですよ。そりゃ無理でしょう。本庄浜さんのほうにも行かせていただいて、新築する言うたけれども、ごめん、ようせんわ言うて、中直すぐらいで、ええで、それでもということで了承いただいたんですが、それでも概算では4,000万円。

絞るに絞ることはやりますけれども、昨今の物価高はどうもすごいですね。考えたら、我々だって、私、町長になって20年ですから、なったときなんかは22億円、予算、今40億円ですものね。これだけ上がってきておるといこと、ちょっと若干理解のほど、お願いしたいと思います。

○議長（佐戸仁志君） 2番、長谷川議員。

○2番（長谷川貴之君） 予算書99ページです。

有害鳥獣対策事業の機械器具費で、熊対応職員と猟友会員用に防護服等、資材を購入すると伺いました。恐らく使用されるのは、特定の職員と猟友会員での使用と、対応になると思います。

ある程度、防護できるとは思うんですが、非常に危険な場面も想定されます。緊急銃猟や関係機関と連携した訓練など実施されるのかどうか。また、そういった訓練の予算も含まれているのか伺います。

○議長（佐戸仁志君） 橋本課長。

○地域整備課長（橋本利将君） 訓練予算のほうでございますが、訓練予算のほうは含まれてございません。令和8年度につきましては、丹後2市2町において、府主体で合同でやるわけなんですございますが、緊急銃猟の訓練を予定しておりますところでございます。

こちらについては、府・市町のほか警察、あと猟友会の方、実際に実働で撃ってもらう候補の方なりにお声かけをさせていただいて実施する予定でございます。

訓練につきましては、今、緊急銃猟マニュアルというものを作成しておりまして、それを基に実

際に動きを確認しながら、猟友会さんたちの意見を聞きながらというような形を想定しておるものと聞いております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。1番、上辻議員。

○1番（上辻 亨君） 97ページの有害鳥獣対策事業です。

二、三年前から鹿による被害、頭数がかかなり今年も捕獲されておるわけですが、侵入防止柵やワイヤーメッシュ、電気柵等の支援をしていただいておりますが、柵を飛び越えたり、電気柵の間をくぐり抜けるようなことも聞いております。

現在、通電する獣害ネットの設置が、但東町のほうへ行くと見るんですが、そういうような、当町でも通電するような獣害ネットを購入支援するような考えはないでしょうか。

○議長（佐戸仁志君） 橋本課長。

○地域整備課長（橋本利将君） 通電するネットというのを、当課のほうでも十分把握していませんでしたので、確認しましたところ、どうも猿対策で、上部のほうにつけるネットのようなものがあるというふうに聞いております。

ワイヤーメッシュ、電気柵もそうなんですけれども、こちらについては、国の鳥獣被害防止総合対策交付金事業、こちらの鳥獣被害対策防止柵整備という事業メニューにより実施しております。

現在、上辻議員からのご質問もありましたので、さっそくですけれども、府を通じ国のほうに、導入の可能性も含めて確認をしているところでございます。実際採択されるのでございましたら、地域のほうにもアナウンスさせていただいて、希望地域に購入支援を行いたいと考えております。

あと、上部にある電気柵は、泊のほうでもワイヤーメッシュ柵の上に、これは猿対策ですけれども、猿対策として何条かの電気柵をつけた、鹿と猿をセットで対策するというもので実施はしておりますという状況でございます。

以上です。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） 先ほどちょっと間違えてしまいましたが、進入路についてお伺いします。

○議長（佐戸仁志君） 橋本課長。

○地域整備課長（橋本利将君） 進入路が必要かというところのご質問だったかと思います。

ゴダイ横につきましては、住宅建設を今後進めていく方針でございます。住宅建設につきましては、実際に住宅を建てる前に、そこまで行くルートというのを確保する必要があるまして、あの大原住宅のようなイメージになるかと思いますが、まずは道路をつけてから、その後で住宅を整備していくという流れになりますので、次に先行しますのは道路という形で、必要があると考えております。

必要性としましては、以上でございます。

○議長（佐戸仁志君） 3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） それは、住宅を建てましょうとなってからでも遅くはないと思うんですけれども、今どうしてもやる必要があるということですね。

○議長（佐戸仁志君） 橋本課長。

○地域整備課長（橋本利将君） 事業規模が大きくなりますので、予算配分に応じてになりますが、順次やっていく必要があると。住宅を建てるからといって、道路と一緒に住宅というのはちょっと苦しいと思いますので、順次やっていくということで考えております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） 住宅を建てるという予定があるというのは、いつぐらいに建てられるんですか。

○議長（佐戸仁志君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 町長といたしましては、すぐにでも建てたいです。すぐにでも建てたい。確かにそうなんですけれども、いかんせん、ない袖は振れない。過疎債の話もございましたけれども、今年の予算額のほうでも、港湾、それから町道、それでほぼほぼ3億円ちょい、ほかのものと合わせると、4億円からの過疎債の起債をするわけですね。

それに加えて今度、来年から、9年から、9年、10年、11年、12年、そこまでの3年間ぐ

らいは小学校ですよ、小学校は24億円。24億円で3分の1、8億円は国の補助金を取ったとして16億円、16億円を過疎債に持っていかならん、16億円です。おおむね3年間でいったら、毎年5億5,000万円ずつ。今借りておるやつの上に乗せるわけですね。

その後に、それと並行してやりたいけれども、伊根町だけそんな金を回してくれる、普通、道理はないですね。我々もちょっと、いろいろと町村会通じたり、全国町村会、またいろんな先生方通じて、ええ補助金だとか、そういうのを何とか回してほしいということはお願ひしますけれども、ちょっとすぐには難しいですね。

取りあえず道路のほうも上げておるんですけれども、ひょっとして算定で落とされた場合は、できないかも分からない。それプラス、今度は保育所ですよ。

これ、金さえありゃ一遍に、こんなもの一遍にやるのが一番効果的なんですけれども、それはおいそれ、そうはいかない、財政との兼ね合わせと、年数も区切ってやっていかなきゃならない。その辺のことがございますので、いつかと言われれば未定なんですけれども、3年、4年後になってしまうかなと思っております。

それか、一気にやらずに10棟、10棟とか15棟、15棟というておりますけれども、単身住宅を、5棟から始めるとか、半分からいう、いろんなことを考え合わせて、それとまた、やる方式が、民間業者がつくってやる、BDだかDBとか、借り上げ方式とか、方式もありますので、どれがうちの一番財政的に負担がなく、早くにいいものができるか、そこはしっかりと算段させていただきたいと思っております。

今、いつからだと言われれば、ごめんなさい、未定ですね、二、三年は後になります。申し訳ない。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 106ページの誘客対策事業についてお伺いいたします。

散策トイレのトイレ問題についてでございます。

伊根浦公園付近におけるトイレ不足が深刻化しております。七面山にトイレはあるものの、福祉センターには女子トイレが3つしかなく、列をなしている現状と、昨年4月に2回、5月に1回、トイレトーパー以外のものが捨てられて詰まったこともあり、使用できないといった期間、事態も発生しております。

伊根浦公園付近のトイレが福祉センターのみという深刻な状況を鑑みると、散策トイレの増設や仮設トイレの設置等を検討すべきではないかお伺いいたします。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 福祉センターのトイレにつきましては、議員ご指摘もありますが、常時不足というところまでではないのかなという認識をしておりますが、伊根浦公園に大型バスの到着が重なる時間だとかイベントの際などは、利用が集中して、待ちが発生していることは認識をしております。ですが、ピークに合わせて恒常的な施設を拡大するということには、限界があるかなと思っております。

散策道路につきましては、平田地区では海蔵寺にお世話になっているところで、散策トイレを増設するということになれば、七面山駐車場のトイレより近い地点でとなりますが、応募があれば考えることができると思っております。

仮設トイレにつきましては、過去にも伊根花火で設置の事例がありましたが、あまり利用がされないという経過から、今はイベントでも設置をしなくなっているため、常時設置するということはどうかなと考えております。

早急な対応といたしましては、七面山の既存トイレも含めました案内や誘導の工夫など、混雑が予想される場面での運用面での対応を中心に、必要な対策を検討したいと思っております。

抜本的な対策につきましては、令和8年度に設置するオーバーツーリズム対策協議会で検討ができればと考えております。

○議長（佐戸仁志君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 運用面という話が出ましたが、例えば有料化という形で、トイレトーパーを購入しないと使えないといったことも考えられるのかなというふうには思っていま

す。いかがでしょう。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） トイレの有料化というアイデアは、今までございませんでしたので、そのあたりも含めて勉強させていただきたいと思います。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 予算書107ページの観光施設の管理運営費のところについてお尋ねします。

13節の使用料及び賃借料のところ、AEDのレンタル料が29万8,000円計上されておりますけれども、このレンタル料は純粋にレンタル料だけなのか、それとも、レンタルするときにおいて使用説明というか、普通だったら、例えば普通救急救命講習の中でも使い方とかもあると思うんですけれども、そういうちゃんと使えるような説明もしての込みのレンタル料なのか、分かれば教えてください。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） AEDのレンタル料につきましては、機器のレンタル料のみでございます。

○議長（佐戸仁志君） 7番、和田議員。

○7番（和田義清君） ここだけじゃなくて、例えば放課後児童クラブとか、役場の庁舎内にもAED置いてありますけれども、AEDを設置しているところにおいては、多分なかなか、AEDを使わないほうがいいんですけれども、使うようなときになれば、いざというときに、音声どおりにやれば使えるんですけれども、しっかりと使えるような普通救急救命の講習なりを関係者の間で、年に1回か、定期的にはやっていくという考えは今後ございますでしょうか。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） AEDを使えるようにする普通救命講習につきましては、以前ご質問いただいて、指定管理施設には、そういったことをするよう指導しているところでございます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。2番、長谷川議員。

○2番（長谷川貴之君） 同じく107ページです。

駐車場管理運営費、13節の使用料及び賃借料です。

地元への借地料ということですが、本年度の大幅な増額要因と妥当性について、どのように判断されたのか伺います。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 増加の要因につきましては、駐車場使用料の増加によるものでございます。

借地料につきましては、自治会との土地賃貸借契約で、駐車料金から経費を除いた額に77分の31を乗じて算出することとなっておりますので、駐車場の使用料が増加すれば借地料も増加するというところでございますので、契約に基づいた積算を行っております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） ということは、駐車場の利用が増えれば増えるほど増えていくということになるんですかね。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 契約上77分の31ですので、駐車料収入が増えれば借地料も増えるということになります。

参考ですけれども、七面山駐車場を開設した平成29年度ですけれども、駐車場収入は276万円でございます。借地料は、契約に基づいて100万円でございます。今年度、それが約10倍になっております。収入も10倍になっておりますので、契約に基づいて使用料も10倍になるということでございます。

○議長（佐戸仁志君） 3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） 借地料ですけれども、面積にするとどれぐらいあるんですか。

○議長（佐戸仁志君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 借地面積につきましては、公簿面積でございますが、公簿面積で155.86平方メートルとなっておりますが、実測はしておりませんが、実測すると、もっと大きいものだと思っております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。ないようですので、最後に、9款消防費から14款予備費を対象として質疑を行います。質疑ありませんか。1番、上辻議員。

○1番（上辻 亨君） 10款教育費です。125ページから131ページにかけてです。

小・中学校管理運営費の中で、学校給食無償化事業では、保護者負担ゼロとありますが、昨年の米の価格の高騰や、生鮮食品、調味料等も値段が高くなっておると聞きますが、今年度、小学校、中学校の生徒、1日1人当たりの給食費に係る費用は、どれぐらいになっているのか教えてください。

○議長（佐戸仁志君） 横川次長。

○教育次長（横川 純君） 12月補正にも、昨今の物価高に基づきまして算出をさせていただいて、補正予算をいただいております。町立小学校につきましては320円、中学校につきましては350円にて算出をしております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 教育費の無償化事業についてお聞きます。

現在、無償化の対象外の品目としては、習字道具とか裁縫道具とか、彫刻刀とかそろばんとかがあるかなと思うんですけれども、それは保護者が自費購入していると思うんですが、総額はどれぐらいかというのは、教育委員会ではつかんでいるのでしょうか。

○議長（佐戸仁志君） 横川次長。

○教育次長（横川 純君） ご指摘のとおり、無償化事業によりまして本町が補助するものと、個人、保護者さんが負担するものと分かれております。これにつきましては、伊根町立小・中学校教材費無償化事業実施規程に基づいて実施しておりまして、児童・生徒個人が管理し、小・中学校、家庭のいずれかにおいても使用できるもので、私物として区分されているものが保護者の負担となります。

議員が言われました裁縫セット、彫刻刀のほかにも、はさみやカッターナイフなど、また辞書とか参考書なども全て私物となりますので、それらの総額をと言われますと、なかなか把握はできないのかなというふうに思います。

ただ、ご質問にありましたそろばんにつきましては、各学校とも学校備品で貸与しているということでございます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） そうですね、総額と言っても難しいかなと思います。すみません。

ただ、令和7年6月25日で文科省から、今物価が高騰している中で、保護者の経済的負担を軽減するための、何かそういう通知が出ていますよね。自治体によってはいろんなものを、何かはちょっとよく分かりませんが、自治体で学校で備品としてそろえて、それを貸与するとかいう形を取っているところも、二、三、というか、増えてきているというふうなことも情報としては持っているんですけれども、そんなふうにして、学校の備品化、それから貸与するという方向で考えていくということは検討していただけないかと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（佐戸仁志君） 横川次長。

○教育次長（横川 純君） 文科省通知なんですけれども、多分議員のイメージと違いまして、そういう事例がありますよというのを周知していくという通知です。なので、学校で備品を整備して貸与しなさいというような通知ではございません。

また、いわゆる、大体買うものといったら、習字道具とか裁縫セット、彫刻刀とかリコーダーとかになると思うんですが、なかなか今言ったもので、学校から貸与したとき、絵具セットなんかはねえというような、絵具セットとかも貸与するとか、習字も筆の使い方というか、それぞれで違うと思いますし、ちょっとなかなか学校で貸与すべきものかということは、考える必要があるかなと思います。

○議長（佐戸仁志君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） だから、癖のある子とかもいますし、習字なんか、筆なんかもそうだと思うんですけども、でも、これだけ物価が上がっている中で、習字セットとか裁縫セットとかというのは、その時期だけしか使わないというふうなことも結構ありますよね。買いたい人はもちろん買って、子供に習字させたいとかという保護者さんは、購入もいいと思うんですけども、その時期だけでこれだけ負担がかかって、大変だなという保護者さんもうらっしゃるのかなと思うんです。

さっき、文科省の通知、ちょっと私が理解を違っていますよと言われましたけれども、そういうふうなことをしている自治体もある、教育の場面もあるということが通知されているのであれば、それをちょっとこちらの伊根町でも検討していただけたらと思いますが、いかがでしょうか。難しいことでしょうかね。

○議長（佐戸仁志君） 横川次長。

○教育次長（横川 純君） すみません、習字セットいいましたら、高校まで使うんじゃないかなと思うんですが、習字しませんかね。あと、裁縫セットは、私個人的になりますけれども、大体一人暮らしすると、小学校のときの裁縫セットを持っていくような気がしたりもするんですが、また、物価高で保護者負担が増えるということなんですが、それはまた別の関係で補助事業があったり、現在国のほうでも、児童・生徒いいですか、子供に対しての給付金があったりしますので、別の考えになるのではないかというふうに思います。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） 教育費です。129ページの小学校管理運営費について伺います。

再編事業について6,250万円ということで、小学校の解体設計、それから新校舎の基本設計というふうに伺いましたけれども、これ、どちらがどれぐらいかかるのか。あるいはまた、業者、設計をされる見積額といいますか、これは1社がやっているのか、2社がやっているのかということも含めて、ちょっとお伺いしたいんです。

○議長（佐戸仁志君） 横川次長。

○教育次長（横川 純君） 積算につきましては、府の積算要領に基づいての積算でございますので、積算要領にないものは、見積りは複数者から徴収しますが、おおむねは積算要領に基づく積算ということになりますし、これにつきましては町の職員が積算をいたします。

あと、解体設計と新築工事の設計費なんですけど、解体設計につきましては約2,000万円、新築設計につきましては4,000万円ぐらいを考えております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに。松山議員。

○3番（松山義宗君） じゃ、今からの設計ということになるんですかね。

○議長（佐戸仁志君） 横川次長。

○教育次長（横川 純君） 議員ご承知のとおり、3月末ぐらいに新しい労務単価が出ますので、それに基づいて新たに設計する予定です。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 129ページ、小学校再編事業についてお伺いいたします。

小学校を1校に統合することについては、以前から早く進めるべきだと訴えてまいりましたし、臨時会でも条例改正に賛成した次第であります。

しかし、臨時会では、場所や計画の決定プロセスについて質問する機会が、議長の裁量でございませんでしたので、予算で計上されましたので、予算のほうで質問させていただきます。

支持者の方々から意見、質問いただくことが多く、我々議員には説明責任がある立場として、この場であえてお伺いさせていただきます。

国土交通省や消費者庁のガイドラインでは、子育て環境として、保育所や小・中学校は自宅から1.2キロ以内であることが望ましいというふうにされております。しかし、今回の新設工事では、保育園と小学校、中学校がそれぞれ約10キロ離れてしまいます。また、全国の過疎自治体で、小学校と中学校が5キロ以上離れているケースはほとんどありません。

さらに、教員や調理員、運転手などのスタッフ不足から、小学校と中学校の併設義務教育校への統合が進む現状がございます。もちろん、スクールバスでの対応もされるというふうにお伺いしておりますが、将来的には子育て環境として不便になるのではないかということをお伺いしております。

ます。

また、小学校建設には補助制度がありますが、先ほどもありましたように莫大な予算が必要であります。支持者の意見の中で多く言われるのが、この意見でございます。伊根中学校は既に建築され、築80年は使用可能であります。この施設を活用すべきといった意見であります。

例えば、駐車場部分に1階4部屋、2階4部屋の2階建て校舎を建設して、渡り廊下を設置すれば、小学校と中学校として運用可能というものであります。また、体育館や教育施設も共用でき、運動が得意な小学校の先生が中学校の部活動を指導することや、中学校の体育、音楽の先生が小学校の授業を担当することなど、職員の柔軟な活用も期待できると思います。

コストを抑えながら、児童・生徒数が今後減少する中で、伊根中学校を活用する案はなかったのか。また、その案があった場合、なぜそうした案が採用されず、本庄小学校になったのか。この件について、この場で答弁をぜひお伺いしたいというふうに思います。

○議長（佐戸仁志君） 横川次長。

○教育次長（横川 純君） ありがとうございます。

それでは、なぜ本庄小学校の跡地に決定したのかというところでご回答させていただきます。

伊根小学校の再編に当たりまして、設置場所は議員言われましたように、現本庄小学校の現在地とさせていただきます。特定の地区に配慮するだけでなく、子供たちにとって教育環境を長期的に安定させる観点から、複数の候補地を同じ条件で比較し、総合的に判断したものでございます。

具体的には、学校施設審議会の答申も踏まえ、候補地として教育用地などを考えました。また、通学距離と安全性、敷地の広さ、災害時の避難拠点としての機能、交通アクセス、地域施設との複合化の可能性、地域資源の活用、将来的な拡張性といった観点から検討したところでございます。

その結果、総合的に判断した結果、本庄小学校の現在地は、学校施設を計画する上で必要となる敷地条件を確保しやすく、配置計画の自由度や安全面、将来の施設運用を考えたところ、総合的に最も適切であると判断したところでございます。

また、議員言われるように、中学校の専門的な知識を持っている教員との連携でございますが、現在伊根町では、小・中学校の小中連携を進めておりまして、現在でも英語教諭が小学校に赴きまして、英語の授業を教えているところでございます。

また、全国的に見ましても、議員言われるように、既設で義務教育学校や小中一貫校が全国でも進んでいるところでございます。しかしながら、小学校、中学校は離れましても、施設分離型の義務教育学校や小中一貫校はあるところでございます。

議員の言われるように、今後、児童・生徒の減少していく中、それぞれの選択をすべき時期が来るかと思いますが、現在の児童・生徒の推移では、それぞれ義務教育学校や小中一貫校は、連携型で教育することが可能ではないかということで考えております。

以上でございます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 伊根中学校を使うという話の答弁が抜けていますので、その分の答弁を求めます。

○議長（佐戸仁志君） 横川次長。

○教育次長（横川 純君） 伊根中学校なんです、議員ご承知のとおり、あそこが用地的に、新しい小学校の用地を国基準で算出しましたら、校舎は2,920㎡になります。これにつきましては、中学校と異なりまして、クラスが1から6までの6クラス、また特別支援教育・通級学級などが大体2クラスございまして、中学校と異なりまして、現在でも8クラスぐらいの学級数が必要となります。

そこから、国基準で算出しますと、校舎の面積が2,920㎡必要というところから、これを複数階、いわゆる2階建て、3階建てなども建設をしましても、伊根中学校の現在の敷地では、これは建設が難しいという判断に至ったところでございます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。教育長。

○教育長（岩佐好正君） 少し再編に関わるところで重要ですので、私のほうからも答弁をさせていただきますが、次長が先ほど答えたところとは違う視点で、町長もよくおっしゃられる

んですけれども、伊根町全体で伊根町の子を育てる、それはどこでかということは、今の現状の中でしっかり見極めなくてはいけないと。

自然と対話をする、伊根町の豊かな自然と対話をしっかりして、歴史も踏まえて、伊根町を支える人材を育てていくんだと、そういう、おっしゃるとおり、私も全く同じことを思っているんですが、それを伊根小、伊根中、あの敷地のところに何とかはめ込めないかというような、そういう形が先に、意見される住民さんの思い、思いとしては分かるんですけれども、本当に最初に言いましたように、伊根町全体で伊根町の子供たち、伊根町全体を知った、その上で、伊根町を支えていく人材を育てよう。

今、小学校と中学校の総合的な学習の時間に手を入れかけています。今まであったことをずっと、あまり大きく変革をさせずに来ていたんですけれども、同じような中身であったりとか重複している部分、2つの小学校がちょっと違う中身をやっている部分もあったりするんですが、いいところを取りながら、小・中をつないで育てていきたいなと。そういう意味で、いろんな安全面のこともありますが、本庄小の跡地を使わせてもらっていききたいと、そういう結論を、町長部局とも相談してさせていただきました。

以上です。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。

休憩します。11時10分まで休憩したいと思います。

休憩 10時57分

再開 11時10分

○議長（佐戸仁志君） 再開します。休憩前に引き続き会議を開きます。

一般会計の質疑を終わりたいと思います。

◎ 日程第3 議案第4号

○議長（佐戸仁志君） 日程第3、議案第4号 令和8年度伊根町国民健康保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑ありませんか。2番、長谷川議員。

○2番（長谷川貴之君） 予算書189ページです。伊根診療所勘定の医薬品衛生材料費です。

院外処方になるまで、場合によっては増額計上もあると説明がありました。逆に、院内の医薬品が過剰在庫となった場合、こういった医薬品の対応はどのようになるのか伺います。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） まず、医薬品のうち予防接種ワクチン、こちらについては基本的に返品ができます。飲み薬は、使用期限内で箱が未開封であれば、返品は可能とのことでございますが、近年は使用期限が短く、返品できないと考えておくほうがよいとのことでございます。

基本的には仕入れの段階で調整をしておりますが、仮に院外処方に移行する段階に余っているものがあれば、その医薬品は院内で処方してしまうことも可能でございます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 158ページ、国民健康保険税について伺います。

国保運営協議会で、未就学児の均等割免除が報告事項ということでありました。諮問事項にならないのかというあたりと、あと、免除分を基金繰入れで対応するというふうにされておりますが、国保被保険者全員の所有である基金を一部の方のみに充当するということは、運協に諮問もせず、国基準以上の新しい免除制度を一般質問と町長裁量で決定するのであれば、こちらは一般会計で補填すべきだと考えるんですが、いかがでしょうか。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） 国保の運協におきましては、委員の皆さんに18歳未満均等割の免除についてご説明を申し上げ、ご質問も受け、反対意見、そういったものも全くございませんでした。十分ご理解、ご納得いただけているものと考えております。

また、一般的に諮問とは、決定していない段階で専門家などの意見を伺うものだとして認識しております。本件は、12月議会で町長が明言されており、決定事項と認識しております。

また、財源としてですが、減免する均等割は国保の被保険者に対するものであり、基金から充当

することが適当と考えております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 減免ですか。課税免除じゃないんですか。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） 言葉が足りませんでした。全額免除でございます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 先ほどの答弁の減免という言葉を削除して、課税免除に変更いただきたいと思います。

○議長（佐戸仁志君） 森田課長。

○住民生活課長（森田連三君） それでは、18歳未満の均等割を課税免除ということでよろしいですかね。はい。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。ないようですので、これで国民健康保険特別会計予算の質疑を終わりたいと思います。

◎ 日程第4 議案第5号

○議長（佐戸仁志君） 日程第4、議案第5号 令和8年度伊根町財産区特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑ありませんか。よろしいですか。これで質疑を終わります。

◎ 日程第5 議案第6号

○議長（佐戸仁志君） 日程第5、議案第6号 令和8年度伊根町介護保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑ありませんか。質疑がないようでありますので、これで質疑を終わりたいと思います。

◎ 日程第6 議案第7号

○議長（佐戸仁志君） 日程第6、議案第7号 令和8年度伊根町訪問看護事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑ありませんか。質疑がないようでありますので、これで質疑を終わりたいと思います。

◎ 日程第7 議案第8号

○議長（佐戸仁志君） 日程第7、議案第8号 令和8年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑ありませんか。質疑がないようでありますので、これで質疑を終わりたいと思います。

◎ 日程第8 議案第9号

○議長（佐戸仁志君） 日程第8、議案第9号 令和8年度伊根町簡易水道事業会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑ありませんか。質疑がないようでありますので、これで質疑を終わりたいと思います。

◎ 日程第9 議案第10号

○議長（佐戸仁志君） 日程第9、議案第10号 令和8年度伊根町下水道事業会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑ありませんか。質疑がないようでありますので、これで質疑を終わりたいと思います。

以上で、令和8年度伊根町一般会計予算、5特別会計予算及び2事業会計予算の全ての質疑が終わりました。

全てを通して何か質問がありましたら、これを受けたいと思いますので、質疑ありませんか。2番、長谷川議員。

○2番（長谷川貴之君） すみません。先ほど、8款の土木費で質疑がちょっと漏れていましたので、お伺いします。

予算書 1 1 1 ページ、地籍調査事業についてです。

国土調査法に基づき、本年度から着手するというのですが、同法が施行されてから半世紀以上たっておりますが、全国的にそれほど進捗していないようであります。本町は、今後調査を加速させて、さらに進捗を図るものか、また本年度、本庄宇治地区の調査完了で、進捗率は幾らになるのか伺います。

○議長（佐戸仁志君） 橋本課長。

○地域整備課長（橋本利将君） まず、進捗率でございますが、本庄宇治地区の今回実施しますが、宅地・耕地部分になります。そちらの完了時点での進捗率をいいますと、0.5%となります。

本庄宇治地区では、全体的な工程を3つの工程に分けて3か年で実施する予定、ただ、その3つの工程のうち2つ目の工程については、時期をずらしてやりますので、実際には4年かかって宅地と耕地をやるという計画であります。なので、それが終わったときに0.5%ということでございます。

実際に、この計算につきましては、伊根町の全体面積が約62km²、このうち、河川だとか土地ではない部分を除けば大体60、それに対し、本庄宇治の宅地・耕地部分が0.3km²でございます。これを終わったときに、0.5%ということになるものでございます。

今後調査を加速させて、さらに進捗を図るかどうかということにつきましては、単に委託費だけを増額すれば加速できるものではないとも考えております。といいますのが、実際に8年度は、測量業務だとかを発注して実施するわけでございますが、9年度からは、実際に立会いなどを行って、現地での一筆地調査とか、そういった細かな作業が入ってきますので、ここにどれぐらいの職員を投下して実施していかんあかんのか、業務量ですね、その辺をちょっと、初の段階ですので、そういったところも見ながら実施していきたいと考えております。

スタートから3年間につきましては、京都府のほうともお話しさせてもらっておる中で、要望額満額を何とか配当していただけるというような調整をさせてもらっております。なので、2年目の業務量だとか、そして3年目の事業費、そういったものを見据えて、今後継続的に、息の長い事業になっていきますので、おおむねどの程度の費用でやっていくかというのを判断していきたいと考えております。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。3番、松山議員。

○3番（松山義宗君） その関連なんですけれども、なぜ今までされなかったのかということと、それと、近隣市町村というのはどれぐらい進んでいるのかというのをお聞かせください。

○議長（佐戸仁志君） 橋本課長。

○地域整備課長（橋本利将君） まず近隣からいかせてもらいますが、近隣市町、京都府下全体で、令和6年度末で8%と聞いております。特に市街地であったりというところが一番、進捗率は遅いというふうに聞いています。

伊根町でなぜ今まで実施しなかったのかといいますのは、なかなか難しいところでございますが、実際、一度始めていくと、なかなか止まらない事業でございます。下水道とかと一緒にですね、やり出したら止める理由がない。そういった中で、実際、人事配置をしながらやっていくのかということがあったというところです。

ただ、なぜやったかというところでいいますと、実際に伊根町、京都府下の中で複数市町が、やっていないところが、休止の団体は今もいました。ただ、京都府下でも伊根町のみになってきた状況で、何とか、しかも、京都府はかなり進捗率が悪い。そういった中で、京都府からもいろいろと依頼を受けまして、踏み切ったところでございます。

○議長（佐戸仁志君） ほかに質疑ありませんか。ないようでしたら、以上で本日の日程は全部終了しました。

◎ 散 会

○議長（佐戸仁志君） 本日はこれで散会します。

なお、17日の本会議については休会とします。

最終日3月18日は、午前9時30分から開催し、冒頭、一般質問から行いますので、よろしく

お願いします。
お疲れさまでした。

散会 11時23分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊根町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員